

経営比較分析表（令和元年度決算）

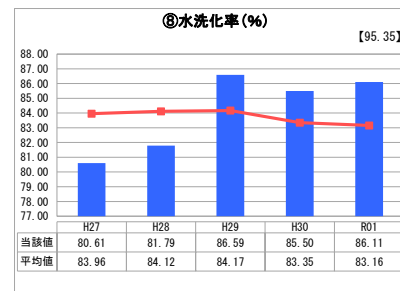
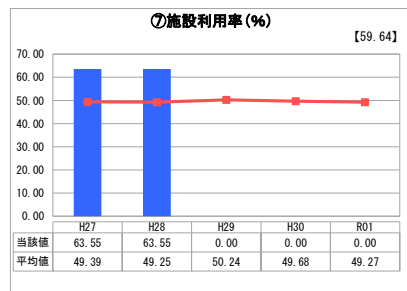
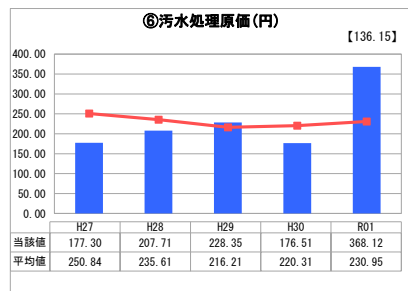
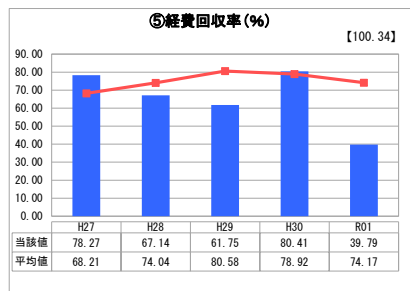
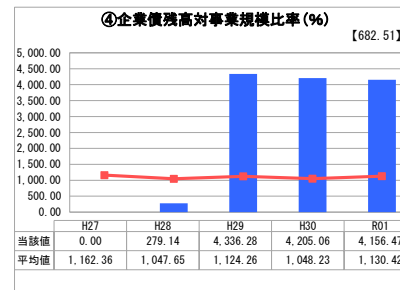
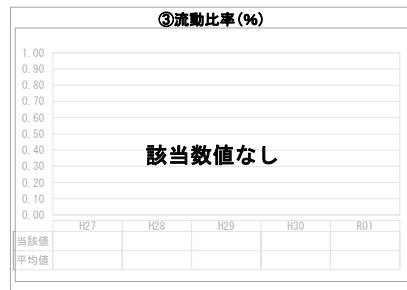
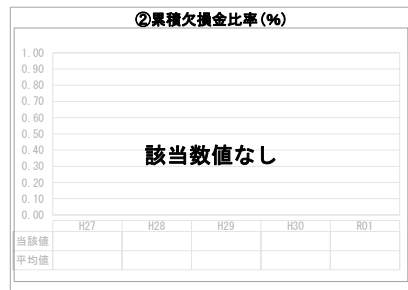
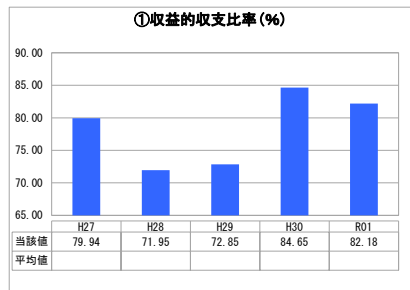
北海道 上川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	82.11	53.11	2,604

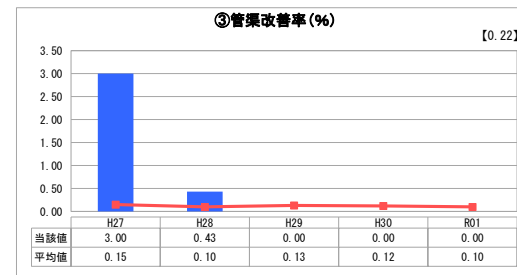
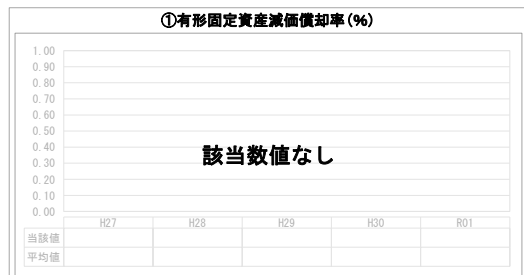
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,510	1,049.47	3.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,850	1.85	1,540.54

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

公共事業については、汚水管渠は概ね整備が整った状態であるが、それらについては補助金のほか、下水道事業債により実施している。上川終末処理場については建設後20年以上経過し、長寿命化計画による設備等の更新を行ってきたところであるが、今後も引き続き行う。人口減少により下水道使用料収入が今後も低下されることが予想される。今後も改修工事等が続きことから投資の効率化や維持管理経費の削減の取り組みを検討し、経営の健全化を図りたい。

⑦施設利用率
H29 0→62.90
H30 0→62.97
R01 0→67.42

2. 老朽化の状況について

管渠については、運用年数が比較的低いものが多いが、終末処理場については建設後20年以上経過しており、施設の機械・電気設備についても耐用年数を超えたものがあつたため、脱水・処理施設の更新を行った。これまでも終末処理場管理経費の修繕において対応しているが、突発的な故障により運転に支障が生じているのを未然に防ぐための抜本的な更新が求められている。
今後は長寿命化更新を進めると共に、管渠においても老朽化を見据えた計画的な整備を進める予定である。

全体総括

大規模改修事業を進めるうえで、経営の健全化を重視しなければならない。具体的には、料金改定を見据えた適正な使用料収入を検討していくと共に、補助金及び繰入金等を活用し、原資の確保を行っていかなくてはならない。また、処理場においては経済性を重視した運転業務を行うこととし、長寿命化においても計画的な整備を推進したい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。